

＜平成 28 年度秋季大会シンポジウム＞
新たな貝毒リスク管理措置の導入に向けた研究

日時・場所：平成 28 年 9 月 11 日（日） 9:00 - 17:00 ・近畿大学農学部

企画責任者：鈴木敏之（水産機構中央水研）・神山孝史（水産機構東北水研）・飯岡真子（農水省消安局）・大島泰克（東北大名誉教授）・金庭正樹（水産機構本部）

- 9:00-9:10 開会の挨拶 大島泰克（東北大名誉教授）
- I. 新たな貝毒リスク管理措置と検査法について 座長：大島泰克（東北大名誉教授）
- 9:10-9:35 1. 貝毒リスク管理措置の見直しについて 飯岡真子（農水省消安局）
- 9:35-10:00 2. 貝毒標準品の製造技術開発と機器分析法 鈴木敏之（水産機構中央水研）
- 10:00-10:25 3. 貝毒標準品の定量 NMR 法による値付け 渡邊龍一（水産機構中央水研）
- 10:25-10:50 4. 下痢性貝毒蛍光 HPLC 法による陸奥湾ホタテガイのモニタリング 高坂祐樹（青森水総研）
- 10:50-11:15 5. 熊本県海域におけるエライザ法による天然二枚貝の麻痺性貝毒モニタリング 島田小愛（熊本水研セ）
- 11:15-11:40 6. 麻痺性貝毒の機器分析による二枚貝毒化・減毒予察 及川 寛（水産機構中央水研）
- 11:40-13:00 昼休み
- II. 新たな貝毒リスク管理措置のための知見整理 座長：神山孝史（水産機構東北水研）
- 13:00-13:25 1. 麻痺性貝毒プランクトン給餌による毒化貝の部位別毒性と減毒期の毒組成変化 三上加奈子（道中央水試）
- 13:25-13:50 2. 岩手県沿岸における貝類毒化の特徴 加賀克昌（岩手水技セ）
- 13:50-14:15 3. 震災後の宮城県沿岸における *Alexandrium* 属シストの分布 田邊 徹（気仙沼水試）
- 14:15-14:40 4. ホタテガイにおける下痢性貝毒の個体差と部位別分布 松嶋良次（水産機構中央水研）
- 14:40-15:05 5. 大阪府沿岸における麻痺性貝毒モニタリング 山本圭吾（大阪環農水総研）
- 15:05-15:30 休憩
- 15:30-15:55 6. 三重県沿岸における麻痺性貝毒の特徴 藤原正嗣（三重水研）
- 15:55-16:20 7. 広島県沿岸における麻痺性貝毒の消長について 小田新一郎（広島県保健環境セ）
- III. 総合討論 座長：鈴木敏之（水産機構中央水研）
- 16:20-16:55 登壇者 神山孝史・金庭正樹・大島泰克・飯岡真子
- 16:55-17:00 閉会の挨拶 金庭正樹（水産機構本部）

企画の趣旨

平成 27 年 4 月から下痢性貝毒公定法がマウス毒性試験から機器分析法に移行した。また、同年 6 月に農林水産省から「二枚貝等の貝毒リスク管理に関するガイドライン」が発出され、昭和 54 年水産庁長官通達「ホタテガイ等の貝毒について」に始まる一連の通達、通知等の改正が進められている。こうした行政施策に対応して、有毒プランクトンや二枚貝の毒力監視現場に

おいては、従来の知見の整理と新たな知見の蓄積が必要となっている。本シンポジウムでは、機器分析法等の導入に伴う新たな貝毒リスク管理措置の確立に向けて、これまでに蓄積されてきた知見を整理するとともに、新たな知見を合わせて、より安全な二枚貝の生産に向けた合理的な貝毒監視体制について検討する。

